

強い達成感につながる、問題解決力・社会性の育成を図る体験の実践例

ねらいと効力感の関係（自己効力感を高める体験活動の特徴 ア）の結果から、問題解決力・社会性の育成を図るねらいをもった体験活動が、強い達成感につながり自己効力感を高めることが明らかになった。該当する実践例は以下の通りである。

【問題解決力の育成を図る体験活動】

数字は実施学年 < > は内容区分 () は領域区分

活動名や活動内容	活用	過程	活動の様子など	指導の工夫など
老人施設に訪問し、お年寄りと交流。 < 1 > (総合)	人材	追究	課題を見つけ実施。	外部講師を招き導入から発表までアドバイスをもらった。
秋の自然の中で五感を使って遊び、自然物を使って遊び道具や飾りを作る。 < 2 > (生活 + 道徳 + 国語)	地形	まとめ	主体的に取り組む。創意工夫が見られる。遊びに工夫。	自然の中で遊ぶ。さつまいもの栽培との関連。
利根川探検：総合学習において課題をみつける手がかりをつくる活動。 < 2 > (総合)	地形	導入	総合学習で自ら課題を見つけるきっかけとなっていた。	事前に児童に準備をさせ活動内容を考えさせておく。
高田川の水質調査：妙義町を流れる高田川において、上流・中流・下流の3ポイントで水質調査を行った。 < 2 > (総合)	地形	追究	子ども自らが計画を立て、意欲的に活動を行うことができた。	町役場などにインタビューに出掛けられるように連携を図った。
地域の財産である滝について調べよう：班ごとに課題を設定し調べまとめた。 < 2 > (総合 + 理科 + 国語)	地形 人材	導入 追究	課題解決の学習の流れが身についた。	専門的知識を持った外部講師の協力を得て学習が進められた。
大豆の加工品について：食農教育で育てた大豆を、みそ、納豆、豆腐など加工品にしていった。 < 3 > (総合)	人材	追究	自分自身の手で加工品を作ることにより、食の安全性について多少なりとも気づいた様子である。	「みそ作り名人」や「豆腐作り名人」など、地域の人材を活用することができた。
昔の道具を調べよう：地域の方をGTに招き、地域に残る道具を使っての体験 単元の課題を見出す。 < 5 > (社会)	歴史 産業 文化 人材	導入	GT + 体験 興味がわいた。児童の既成の観念が逆転した。調べようとする意欲化。	洗濯板の体験、その他の道具の実見。公仕さん、児童の祖父をGTに招き、実演やお話。
長い長さを調べよう：校庭に実物大のシロナガスクジラを描く。巻き尺を活用して作製。 < 7 > (算数)		追究	作成後、急いで屋上にかけあがり、校庭に描かれた絵を他の建物や木などと比較しながら実感していた。海に泳ぐ鯨を思い描くなど算数を超えた広がり	

市音楽会出演 < 7 > (音楽 + 特活)	人材	追究	があった。 目標を持って全員で取り組んだ。	自己有用感を持たせる。
算数のゲームを取り入れた活動 < 7 > (算数)		導入 追究	体験と知識が結びつく。	子どものできること、分かっていないことを見極める。
自動車の部品調べ：館林工業高校にご協力頂いて、自動車を分解して、構成される部品の多さに気づかせた。< 7 > (社会)	人材	導入	子どもたちが協力して取り組む姿が見られた。	高校生と小学生が協力して自動車を分解した。
わたしたちの町：渡良瀬川、銅山街道、わたらせ渓谷鉄道の現在・過去・未来について調べ、町行政にお願いしたいことを子ども議会で提案した。 < 7 > (総合 + 社会)	地形 歴史	追究 まとめ	1月に行われた子ども議会で提案し、町行政を動かすことができるものもあった。	家庭の協力を得、夜の講演会、休日における足尾での水質調査などを行った。

【社会性の育成を図る体験活動】

活動名や活動内容	活用	過程	活動の様子など	指導の工夫など
アイマスク体験教室：視覚障害者を講師に招き、お話、アイマスク体験、点字体験を行う。 < 1 > (総合)	人材	まとめ	障害者の立場になって考えていた。(お礼として点字や録音テープで手紙を送ろうと声が出た)	5年は親にも参加してもらった。
手話体験学習：実際に聾啞者の方を講師に招き、お話や子どもと一緒に手話体験、手話で歌を歌ったりした。 < 1 > (総合)	人材	まとめ	学習後も手話の本やTVをみて話題にしている。	小規模校なので講師と子ども一人一人が会話(手話)できる。
チャレンジスクール：3泊4日で桐生の県立野外活動センターで行った。 < 2 > (学校行事)		追究	一つ一つの活動にゆとりをもたせた。徐々に気づき、考え、行動できるようになった。	児童が選択できる活動を取り入れた。化石や水生昆虫など専門の外部講師を招いた。
地域の方に協力してもらい、しいたけの栽培を行った。準備から取り入れまで、2年間かかったが子どもたちには豊かな体験活動があった。 < 3 > (生活・総合)	産業 人材	追究	長期にわたる活動のため、責任感の育成ができる。	地域によびかけ募集。
たくみの里伝統工芸：グループ別・体験学習 < 5 > (社会 + 総合 + 図工)	産業 文化 人材	導入	完成させるために意欲的に取り組んだ。	「たくみの里」の講師に専門的に指導していただいた。
矢中祭り：1年生や地域の人を招待してお祭りを行った。	文化	まとめ	自分たちで計画し、準備し、自主的に進	1年生や地域の人を招いて交流を図ることを目的

< 6 > (生活) あずま南フェスティバル	産業	まとめ	めていた。 自分自身でやりたいことを選び取り組んだ。	とした。 児童の発想を大切にしました。
< 7 > (生活) 2年生乗り物体験：学校から高崎駅までグループで行き(チェックポイントを通過)自分で切符を買って前橋駅へ。路線バスで前橋児童遊園へ行った。	地形 地理	まとめ	実際の社会に出て、自分たちで考えて目的地まで行けた。	
< 7 > (生活) 林間学校のカタター訓練：2泊3日で3回。		まとめ	徐々に技能が向上していくことが自分たちで分かる。	活動中にはカタターをこくことに集中できるように、事前に決められることは決めておく。
< 7 > (学校行事) 林間学校のカタター訓練：2泊3日で3回。		まとめ	徐々に技能が向上していくことが自分たちで分かる。	活動中にはカタターをこくことに集中できるように、事前に決められることは決めておく。
すばらしい2学期のまとめとして、クリスマスパーティーを盛り上げよう：クラスを中心としたイベント。(実行委中心)		導入 追究 まとめ	子どもたちのモチベーションがとても高かった。班会議を経て行った全体会では70分でのべ100以上、全員の挙手発言があった。	意欲的な子どものアイデアはほとんどOKとした。
< 7 > (特別活動) 町内の祭りにマーチングバンドが参加し、地域との一体感を図る。	人材	追究	地域との一体感	

【問題解決力・社会性の育成を図る体験活動】

活動名や活動内容	活用	過程	活動の様子など	指導の工夫など
川調べ：総合の環境に関わるもの。 < 2 > (総合)	地形 人材	導入 追究	実際にポイントとなる場所を調べたこと。	地域の方にお手伝いしてもらった。
ダイズタイム：大豆を畑で育て、収穫。豆腐作りや大豆製品について調べ、追究していった。 < 3 > (総合)	人材	導入 追究 まとめ	大豆を育て収穫する、豆腐や油揚げなどを実際に作ってみるといこととで、過程や成果が子どもたちに見えてわかりやすかった。	地元の人を講師として招いたり、発表時にも招待したり、いろいろな人と関わることができて4年生に合っている活動。
地域の昔調べ(歴史的建物) < 5 > (総合)	歴史 人材	追究 まとめ	家や地域の方とのつながりが持てた。	グループ作りやテーマ作り。
町たんけん：地域の人たち(店・寺など)のところへ調べに行き、まとめる。また、その方々にゲストティーチャーにきていただくか、発表会にきてもらったりする。 < 6 > (生活)	産業 文化 人材	導入 追究 まとめ 振り返り	自分で調べたいことを追究できている。	地域の人を発表会によんだ。
子どもの代表が警察署に行き、小学		追究	不用になった自転車のへ	親が先生となり指導し

<p>生の交通事故の実態について聞き取り調査をし、報告する。保護者に先生になってもらい、交通公園に車を並べて自転車に乗ってみる。＜6＞ (学級活動)</p>			<p>ルメットを親が集めて、使用できるようにしてくれた。子どもたちは嬉しそうに自転車に乗っていた。</p>	<p>た。交通公園に車を入れて実際の道路と同じようにして、車の死角を学んだ。</p>
<p>商店街祭り：地域の商店街に取材、追究したことをもとに、目指す商店街作りに取り組み、地域の方々・保護者・児童の来訪をよびかけ、「商店街」を通した情報発信をする。 ＜6＞(社会+総合)</p>	<p>産業 人材</p>	<p>追究</p>	<p>商店街の工夫や努力、人々とのかわりを自らの視点で捉え、自分の取り組みとして考えることができた。</p>	<p>商店街の方への協力要請、招聘。目指す商店街づくり、祭りを通した追究、発信。</p>
<p>農業・相撲・自然環境・歴史・伝統文化・伝統料理の6つのクラスに4年から6年までが分かれて、たてわりで活動している。 ＜6＞(総合)</p>	<p>歴史 文化 人材</p>	<p>導入 追究 まとめ 振り返り</p>	<p>課題意識を持って取り組めた。</p>	<p>地域の大勢の人材を外部講師として招いた。</p>
<p>県立養護学校・老人福祉施設との交流学習を行った。 ＜6＞(総合+国語)</p>	<p>人材</p>	<p>導入 追究 まとめ 振り返り</p>	<p>他者とのかわり、思いやりを培えた。</p>	<p>お互いの行事に参加。外部関係機関との連絡調整。</p>
<p>用水についての聞き取り：地域住民を対象に、学習問題を解決するための聞き取り調査を行う。 ＜6＞(社会)</p>	<p>人材</p>		<p>聞き取りによる発見が多く、達成感があった。地域の人との交流の喜びを感じられた。</p>	<p>班ごとに引率職員がついた。事前に住民に協力の要請をしておいた。</p>
<p>地域の人の願いや自分の想いを生かして追究課題を決める：発信型。「町に対して自分たちができることをやろう」というもの。その追究テーマを決める際、個人の想いに加え、地域の方々にインタビューしたものを一覽させ、テーマ決定の助けとした。 ＜6＞(総合)</p>	<p>人材</p>	<p>導入</p>	<p>地域の人々の願いを項目ごとにまとめさせ、分かりやすくした。</p>	<p>グループ決定を子どもに委ねた。 KJ法を取り入れた。</p>
<p>5・6年修学旅行：北鎌倉駅をスタートし、鎌倉駅までを寺社等を見学しながら行く。事前に計画を立てた。 ＜7＞(学校行事+学活ほか)</p>	<p>歴史</p>		<p>初めての地で地図を頼りに自分たちの力で見学しながら目的地に到着できた。</p>	

